

平成30年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

本校は、平成26年度から「高大連携重点型」工科高校として再出発し、「工学系・大学進学専科」を1クラス設置して、昨年度で第2回目の卒業生を送り出したところである。

本校がこれまで培ってきた伝統や教育活動を踏まえ、スローガン（標語）である「生徒が主役！一生徒の力を伸ばし、確かな進路を実現」を掲げ、ものづくり人材の育成を図る。

- 1 授業や特別活動を通じ、生徒が生き生きと学び、将来へのキャリア形成を着実に行う。
- 2 規律を遵守し、規範意識を持ち、正しさを一貫して追求する。
- 3 生徒の多様な進路を保障しつつ、社会に有為な技術者を送り出す。
- 4 地域に貢献し、地域に開かれた信頼される学校となる。

2 中期的目標

1 確かな学力向上への取組み

(1) 生徒が積極的に授業に参加し、基礎的・基本的な学力の定着ができるよう、生徒との信頼関係をベースにした授業改善に取り組む。

ア 生徒の実態を把握し、「主体的・対話的で深い学び」の実現を図り、「魅力ある授業」「わかる授業」を推進する。

イ 教員の授業力向上のため、教員相互の授業見学や研究授業の活性化と、外部との連携による研修の充実を図る。

ウ 家庭学習の定着と、読書活動を推進できるように学校図書館機能の充実を図る。

※授業アンケート結果における授業満足度（平成28年度79.0%、平成29年度80.8%）を、2020年度には85.0%以上にする。

※生徒向け学校教育自己診断における「授業の工夫等」（平成28年度45.0%、平成29年度56.0%）を、2020年度には70.0%以上にする。

※生徒向け学校教育自己診断における「家庭学習者の増加」（平成28年度20.0%、平成29年度26.5%）を、2020年度には35.0%以上にする。

※生徒向け学校教育自己診断における「図書館機能の充実」（平成28年度54.0%、平成29年度62.5%）を、2020年度には70.0%以上にする。

(2) 「ものづくり教育」を通じて、意欲をもって学習に取り組む生徒を育成する。

ア 生徒が望ましい勤労観・職業観を身に付けるため、企業や大学等と連携を行い、キャリア教育・職業教育の充実を図る。

イ 生徒が様々な資格に挑戦できるよう、日々の学習活動や放課後に指導を行い、頑張る生徒を支援する。

ウ 英語の4技能（「聞く・話す・読む・書く」）をバランス良く指導し、国際的な視野を有する技術者を育成する。

※インターシップ参加者（平成28年度65名、平成29年度42名）を、2020年度には70名以上にする。

※生徒向け学校教育自己診断における「実習授業満足度」（平成28年度74.5%、平成29年度77.0%）を、2020年度には85.0%以上にする。

※資格取得者の増加を図り、全国工業高等学校長協会（全工協会）で資格取得に応じて点数化されて、その合計点により顕彰されるジュニアマイスター制度を奨励し、ゴールド[G]・シルバー[S]・ブロンズ[B:H30から制度化]の取得（平成28年度G3名・S8名、平成29年度G4名・S8名）を、2020年度にはG5名・S12名・B20名以上にする。

2 子ども達の未来に向けた支援と豊かな心をはぐくむ

(1) 人権教育に立脚した他者と連携する力の育成に努めるとともに、生徒との信頼関係をベースにした毅然とした生徒指導を行う。

ア 生徒の発達段階に応じた人権教育と、学年別人権教育の充実を図る。

イ 生徒にマナーの向上とルールを厳守させ、問題行動の防止や遅刻件数・転退学率の減少に努める。

ウ 情報モラルやセキュリティに関する教育の充実を図る。

※生徒向け学校教育自己診断における「人権教育等の充実度」（平成28年度49.5%、平成29年度53.5%）を、2020年度には60.0%以上にする。

※問題行動指導（平成28年度14件・32名、平成29年度11件・29名）を、2020年度には件数を一桁台にする。

※遅刻件数（平成28年度4,453件、平成29年度3,268件）を、2020年度には2,000件以下にする。

※転退学率（平成28年度1.69%〔転学0.95%、退学0.74%〕、平成29年度2.01%〔転学1.06%、退学0.95%〕）を、2020年度には1.5%以下にする。

(2) 分掌・学年等の取組の中で、生徒の自己実現への支援に努める。

ア 支援教育の充実のため教育相談体制の機動性を高め、学習支援活動の充実を図る。

イ 進路実現に向けた分掌・学年・教科の連携を深め、学校行事を含めて生徒の自己実現に向けた指導の充実を図る。

ウ 工学系大学進学専科の指導充実を図り、国公立大学への進学を含め生徒の多様な進路希望の実現を図る。

エ 卒業後の追跡調査の精査をめざすため、3年後の離職率調査を実施する。また、進学した生徒の学習状況調査を実施する。

※生徒向け学校教育自己診断における「先生の相談対応」（平成28年度52.5%、平成29年度59.5%）を、2020年度には65.0%以上にする。

※生徒向け学校教育自己診断における「進路に関する行事の充実」（平成28年度67.5%、平成29年度70.0%）を、2020年度には75.0%以上にする。

※就職一次合格率（平成28年度82.1%〔工科平均82.6%〕、平成29年度83.6%〔工科平均84.8%〕）を、2020年度には工科平均以上にする。

※就職希望者内定率（平成28年度100%〔214名〕、平成29年度100%〔220名〕）、進学希望者内定率（平成28年度95.1%〔78/82名〕、平成29年度98.8%〔82/83名〕）を、2020年度には共に100%にする。

※3年後の離職率（平成28年度21.7%、平成29年度24.5%）を、2020年度には20%以下にする。

3 魅力ある工科高校の創造と学校運営体制の確立

(1) 広報活動の充実を図り、志願者の安定的確保を図る。

ア 2020年度の旅費縮減を踏まえて、中学校訪問や出前授業、学校説明会の精査・充実を図る。

イ 地域の小・中学校等との連携を深め、学校の活性化を促進する。

ウ 中学卒業生が減少する中、入学者選抜の志願者倍率を総合募集・工学系ともに1倍以上確保する。

※幼・小・中学校との連携（平成28年度5回、平成29年度7回）を、2020年度には8回にする。

※志願倍率（平成29年度入試〔総合〕1.014倍〔工学〕1.725倍、平成30年度入試〔総合〕0.875倍〔工学〕1.625倍）を、2020年度には総合募集・工学系ともに1倍以上確保する。

(2) 生徒がものづくり大会等で入賞できるよう、教員の「ものづくり」技術を継承し、意欲ある教員の育成に努める。

ア 旋盤・電気工事・電子回路組立など、ものづくり大会へ参加し、全国大会をめざす。

イ マイコンカーレース・ロボット相撲大会などに参加し、全国大会をめざす。

※高校生ものづくり大会旋盤部門（近畿大会：平成28年度準優勝・第5位、平成29年度準優勝・第3位）を、2020年度には近畿大会で優勝して全国大会に出場する。

(3) 生徒が生き生きと学校生活を送り、未来を支援できるよう学校組織の改善を進める。

ア 部活動加入率の向上とともに、環境整備や安全対策の強化を図る。

イ 学校課題について五役会（校長・教頭・首席・指導教諭・事務長）で検討し、組織的に迅速な実行を図る。

ウ 教職員が互いの情報を共有化するため、校内イントラネットを活用した校務のICT化を進める。

※部活動加入率（平成28年度69.0%、平成29年度66.8%）を、2020年度には72.0%以上にする。

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析	学校運営協議会からの意見

本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 確かな学力への取組み	<p>(1) 学力の定着 ア 「魅力ある授業」「わかる授業」の推進 イ 教員相互の授業見学や研究授業、外部と連携した研修の充実 ウ 家庭学習と学校図書館機能の充実</p> <p>(2) ものづくり教育 ア キャリア教育・職業教育の充実 イ 資格取得への支援 ウ 英語の4技能指導による技術者の育成</p>	<p>(1) ア・教員の授業に対する生徒の意識を把握し、指導力向上を図る。 ・全学年において基礎学力調査等による生徒学力定点観測・分析を行い、課題の克服を図る。 イ・教科ごとの公開研究授業を実施。教員相互の授業見学、授業力向上研修を進める。 ウ・家庭学習の定着とともに、学校図書館機能の充実を図る。</p> <p>(2) ア・企業や大学等の連携により、キャリア教育・職業教育への興味や関心を高める。 イ・様々な資格取得を組織的に進め、生徒の付加価値を高める。 ウ・英語学力調査を入学生から新規導入し、4技能の分析を行い、英語教育の指導に生かす。</p>	<p>(1) ア・授業アンケートの質問9「授業満足度」82%以上(H29: 80.8%) ・学校教育自己診断「授業の工夫等」平均60%以上(H29:1年50%、3年62%) ・生徒の経年値学力の向上 国数英の平均計210点以上 イ・相互授業見学1人2回以上 ・公開研究授業の実施(各教科) ウ・学校教育自己診断「家庭学習者の増加」平均30%以上(H29:1年21%、3年32%) ・学校教育自己診断「図書館機能の充実」平均65%以上(H29:1年61%、3年64%)</p> <p>(2) ア・インターンシップ参加者数: 50名以上(H29:42名) ・学校教育自己診断「実習授業満足度」平均80%以上(H29:1年75%、3年79%) イ・ジュニアマイスター: H29取得者数からの増加(H29:G4, S8) ウ・英語学力調査結果を分析し、課題と今後の指導方針の見直しを図る</p>	
2 子ども達の未来に向けた支援と豊かな心をはぐくむ	<p>(1) 人権教育と生徒指導 ア 発達段階に応じた人権教育の充実 イ マナー向上とルール厳守、問題行動の防止や遅刻件数・転退学率の減少を図る ウ 情報モラルやセキュリティの啓発に努める</p> <p>(2) 生徒の自己実現への支援 ア 教育相談体制の充実 イ 進路実現に向けた指導の充実 ウ 進路希望の実現 エ 離職率調査と大学進学者への学習状況調査</p>	<p>(1) ア・人権講演会や人権HRを実施し、合理的配慮を踏まえた「ともに学び、ともに生きる」共生社会を学ぶ。 イ・集会時や日々の学校生活において啓発を行い、問題行動の防止に努める。 ・基本的な生活習慣を身に付けさせ、遅刻件数の減少を図る。 ・きめ細かな生徒指導、学習指導により転退学率の減少を図る。 ウ・情報に関する授業での指導と、集会時や外部講師による啓発等を行う。</p> <p>(2) ア・支援教育コーディネーターを中心に関係教員の連携を強化し、教員による相談対応の充実を図る。 イ・生徒の自己実現に向けた取組みを支援するため、進路に関する学校行事の充実を図る。 ・就職一次合格率の向上を図る。 ウ・就職希望者の進路実現に向け、きめ細かな進路指導を行う。 ・工学系はじめ大学等進学希望者の進路実現に向け、きめ細かな進路指導を行う。 エ・卒業3年後の離職率調査を継続し、就職者の定着を進める。 ・大学進学者への学習状況調査を継続し、進学指導に生かす。</p>	<p>(1) ア・学校教育自己診断「人権教育等の充実度」平均60%以上(H29:1年54%、3年53%) イ・問題行動指導: 件数一桁台(H29:11件・29名) ・遅刻件数: 2,500件以下(H29:3,268件) ・転退学率: 1.6%以下(H29:2.01%) ウ・外部講師による啓発: 各学年1回(H29:未実施)</p> <p>(2) ア・学校教育自己診断「先生の相談対応」平均60%以上(H29:1年53%、3年66%) イ・学校教育自己診断「進路に関する行事の充実」平均73%以上(H29:1年67%、3年73%) ・就職一次合格率: 工科平均以上(H29:83.6%、工科平均84.8%) ウ・就職並びに進学希望者内定率: 共に100%(H29:就職100%、進学98.8%) エ・離職率: 23%以下(H29:24.5%) ・学習状況調査による課題の洗い出し</p>	

<p>3 魅力ある工科高校の創造と学校運営体制の確立</p>	<p>(1) 広報活動と志願者確保 ア 広報活動の検討・充実 イ 地域との連携 ウ 志願者倍率</p> <p>(2) ものづくりに対応する教員の育成 ア ものづくり大会への参加 イ マイコンを利用した大会への参加</p> <p>(3) 有意義な学校生活と学校組織の改善 ア 部活動の振興 イ 学校課題の対応と迅速な組織体制 ウ 校務の ICT 化</p>	<p>(1) ア・修学旅行を含め、中学校訪問や出前授業、学校説明会の精査・充実を図る。 イ・地域の小・中学校との連携を深め、学校の活性化を図る。 ウ・様々な機会を捉えて学校PRを行い、入学者選抜の志願者を確保する。</p> <p>(2) ア・学習内容に合致した高校生ものづくり大会へ参加し、全国大会に出場できるよう近畿大会で優勝をめざす。 イ・マイコンカーレースやロボット相撲大会に出場し、上位入賞して全国大会出場をめざす。</p> <p>(3) ア・部活動加入率を向上させ、活気ある高校生活を送れるよう、環境整備や安全対策を強化する。 イ・五役会（校長・教頭・首席・指導教諭・事務長）で将来構想や課題を分析・検討し、学校組織の改革を図る。 ウ・職員室が分散しているため、校務やグループウェア等を活用した ICT 化を推進する。</p>	<p>(1) ア・中学校訪問(H29:150校)、出前授業(H29:8校)、学校説明会(H29:10件)の精査・充実 イ・幼・小・中学校との連携:7回以上(H29:7回) ウ・志願者倍率:1倍以上(H30:[総合]0.875倍、[総合]1.625倍)</p> <p>(2) ア・ものづくり大会の成果(H29:旋盤が近畿大会準優勝) イ・マイコンカー、ロボット相撲の成果(H29:共に全国大会出場)</p> <p>(3) ア・部活動加入率:70%以上(H29:66.8%) イ・改革や課題解決による成果 ウ・ICT活用による会議室等の予約管理や行事管理の実施</p>	
------------------------------------	---	--	--	--